

ウラジオストク滞在に関する報告について（2月分）

1. ロシア語学校について

2月になり、主に中国から新しい学生が多く入学し、また入学の手続きのために極東連邦大学の事務局にきています。文字も読めないゼロからのスタートの学生も多く、時折事務局の先生方がすでにある程度ロシア語ができる学生に通訳をお願いしたりしています。

現在、留学生向けのロシア語の授業は街中のキャンパスで行われていますが、新入生はルースキー島に住むことになるようです。

2. 沿海地方行政府での実務研修について

2月18日より、沿海地方行政府での実務研修が始まりました。今回研修を受け入れていただいた部署の方はとても優しく、研修を通して助けていただいたり、ウラジオストクのことをいろいろ教えてくださいました。

・観光情報センター（2月18日～22日）

観光情報センターは市内でも有名なホテルの一階に位置しており、外国人観光客へのウラジオストクの紹介や案内、パンフレットの配布等を行っています。この時期は観光シーズンではないので、私の研修中には訪問してくる外国人観光客の方はいませんでした。ここでは主に地方政府がHPに載せている記事や今後ウラジオストクで行われるイベント等の紹介文をロシア語から日本語に訳すよう頼まれました。

・地方政府観光局（2月25日～3月1日）

観光局では観光情報センターよりも実務的な業務をしているといった印象がありました。日本で行われている観光分野面での補助や外国人観光客の支援システムについてロシア語でまとめて提出するよう頼まれました。提出した書類についていくつか質問されたり、詳しく教えてほしいと言われたりと、日本の観光分野への強い関心がうかがえました。



(写真1：観光情報センター)

3. ウラジオストク市内の状況について

- ・気 候

今年は近年稀に見る暖冬のように、2月でも暖かい日が多かったです。もちろん風が強く寒い日もありますが、雪が降らず比較的過ごしやすい日が多い印象です。

- ・治安状況

日本人が犯罪に巻き込まれたという情報はありません。

- ・市内の様子

ロシアでも2月14日はバレンタインデーです。ただ日本とは違い、男性から女性に花やお菓子を贈るのが一般的なようです。また23日は「祖国英雄の日」となっており、主に「男性の日」として男の人に感謝する日となっています。

ロシア人はしばしば家族や友達、恋人間でプレゼントを贈り合います。あまり日本では馴染みがないかもしれませんが、花をプレゼントすることも多いです。祝日やイベントがあるときは街の通りでも花やプレゼントを手を持っている人を多く見かけます。

4. ウラジオストクでの行事について

- ユニティー「世界の文化体験授業」(12日～21日)

ロシアの子供たちに世界の文化を体験・理解してもらうためのイベントで、日本からもブースを出しました。主に極東連邦大学の学生や留学生がウラジオストク市内の学校を訪問し、日本のほか韓国やインド、イギリスなど約10か国の展示ブースが設けられました。日本のブースでは、福笑いやけん玉等のおもちゃが子供たちに人気でした。



(写真2：日本ブース)

●ウラジオストク・アイスマラソン（23日）

ウラジオストクでは冬に海が凍り、2月にはその氷の上を走るアイスマラソンが開催されます。今年は前述したように暖冬のため氷が溶けてしまうことが懸念されていましたが、23日の土曜日に無事開催されました。アイスマラソンでは5キロ・10キロ・21キロから距離を選ぶことができ、子供・家族向けに500メートルのコースも用意されています。靴に装着できるスパイクのようなものが事前にゼッケンと一緒に配布されており、参加者の皆さんはそのスパイクを付けたり、アイスマラソン用にシューズを用意してマラソンに挑みます。

マラソン後には打ち上げを兼ねた日本人会の集まりがあり、日本からアイスマラソンに参加するためにウラジオストクに来られた日本人の方たちともお話することができました。



(写真3：マラソンスタート地点)



(写真4：マラソン大会打ち上げ)